

第 1 2 回 作手地域協議会 会議録【要約】

日時	令和 2 年 1 月 3 1 日（金） 午後 7 時 3 0 分～午後 9 時 1 5 分	公開	・一部非公開・非公開
場所	作手総合支所 会議室		
出席者	委員 1 9 名（欠席者 5 名） 事務局 4 名	傍聴人数	なし
次 第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 報告事項</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 虹の郷からのお知らせ（社会福祉協議会）</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 第 1 1 回会議録について</p> <p>3 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">・ 作手地域の重点課題について</p> <p>4 その他</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 作手地域協議会委員の心得（案）について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 第 1 3 回作手地域協議会日程について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 新城市公共施設の「これから」を考えるワークショップ（作手地区）の開催について</p> <p>（配布資料）</p> <p>次第、虹の郷のショートステイが変わります、第 1 1 回会議録、作手地域の課題と行動、作手地域協議会委員の心得（案）、作手地域まちづくり計画【前回配布のものを持参】</p>		

1 あいさつ

2 報告事項

(1) 虹の郷からのお知らせ

社会福祉協議会より、虹の郷の職員不足により、令和2年4月1日より土日のショートステイを休止する旨、今後は再開できるよう人員確保に努めていく旨の報告があった。

(2) 第11回会議録について

事務局より、第11回会議録について報告を行い、前回の会議内容について確認を行った。

3 議 事

(1) 作手地域の重点課題について

作手地域まちづくり計画の検証の一つとして、今現在、作手地域で重要となる課題の抽出、その課題に対する行動等をグループワーク方式で行った。出された意見は、次のとおり。

〈意見等〉

分野	課題・行動等
住民交流	<ul style="list-style-type: none">○人・もの・自然が重要である。作手地域には色々な活動団体があるので、それぞれが活躍できるように地域協議会が関わっていただけるとよい。○どの分野の課題もすべて住民交流に繋がってくる。「地域が稼ぐまちづくり」になるよう、まずは自分でできる第1歩を考えていく。○中心組織がない。各団体がばらばらに活動しているため、地域の各団体が何をやっているのか分からないのが現実である。どうやって住民周知をしていくかを考える必要がある。
道路・交通・環境	<ul style="list-style-type: none">○これからは移動手段が重要となる。作手地域で始まったデマンドバスの活用について、しっかり考えていく必要がある。特に高齢者が利用に遠慮がちであるとも聞いているので、グループで活用するように誘導していくことができるとよい。
農業	<ul style="list-style-type: none">○農業の中でも、水田の維持が重要である。今、頼まれて作ってくれている人が高齢化した後のことを考える。耕作者のための補助制度、土地の無償貸与、そして米の販路の確保、収入保障、機械のレンタルなどを整えることが考えられる。
防災対策	<ul style="list-style-type: none">○作手地域は、急傾斜地崩壊危険区域や土砂災害警戒区域が多い地域なので、地域独自の連絡用のマップ作成が必要である。安否確認が最優先に考える事項。これは行政区の役員が中心となって、連絡のとれる体制を考える。ある行政区では、向こう3軒で1つのグループとなり安否確認し、区長へ連絡する体制としている。各行政区で意識や体制に差があるので、それぞれで体制をしっかり確立し、市へ報告できるようしておけば、市も災害時に迅速に対応できるようになると思う。また、携帯電話が使えない場合のことも考えていく必要がある。

4 その他

(1) 作手地域協議会委員の心得（案）について

「半年を振り返って」で委員より出された意見を、新しい委員へ繋いでいけるように作手地域協議会委員の心得（案）としてまとめた。追加事項、修正事項などの意見がある場合は、次回の地域協議会までに事務局に連絡していただくよう依頼した。

(2) 第13回作手地域協議会の日程

日時：令和2年2月14日（金）午後7時30分から

場所：作手総合支所 会議室

内容：令和2年度地域活動交付金事業審査会について ほか

(3) 新城市公共施設の「これから」を考えるワークショップについて

より多く参加していただくよう依頼した。

【終了】